

「外国につながる人・つながりたい人と共に『共育』を考える共生フォーラム」

かくちがくしゅう あゆ げんざい みらい
～各地学習サポートの歩みと現在・未来へ～

川崎区では現在、ふれあい館・区役所協働「外国につながる小学生サポート」3か所・週1日（桜本、日進町、宮前）、
「外国につながる中学生サポート」週2日、ふれあい館主催「多文化フリースクール」が週3日、行われている。また、こ
した取り組みは、この20年間、横浜市や東京都でも、広がりを見せている。

また、外国につながる人へのサポートに多くの学生や研究者、多文化共生をすすめる団体が携わり、「外国につな
がる小中学生、高校生」の「居場所」も、各地で増えている。こうした取り組みの共通理念は、日本語や学習の支援に加え、
「共に生きる多文化共生社会」に向けて、お互いが学び合う『共育』が基調である。

今回の講座では、各地域で「外国につながる人・つながりたい人」の地域実践を積みあげてきた多様な世代、人びと
が、それぞれの気づきや悩み、想いをもち寄り、語り合い、伝え合い、明日への力を得るような共に学び合う
「共生フォーラム」を実施します。

開催日時 2025年12月14日（日） 午後2時～4時半

場所 川崎区役所会議室 パレール三井ビル 12階会議室

申し込みメール：青丘社（ hara@seikyu-sha.com ）

<プログラム>

<前半・学習サポート実践のキーワードを伝えるリレートーク>

- 外国につながるこどもの環境や渡日経験をふまえたわかりやすい学習
- 日本語力や基礎学力を身に付けるために、どのようにすすめるか
- こどもが、将来への夢を持ち、モチベーションを高めるために何が必要か
- 保護者の生活上の課題（手続きや在留資格、就労状況）への寄り添いは？

*コーディネーター 原千代子（社会福祉法人青丘社事務局 局長）

<川崎実践者> 笹尾 裕一（翠嵐高校定時制多文化教育コーディネーター）

多賀 重久（ふれあい館小学生サポートコーディネーター） 倉形 玲子（大師高校日本語指導員）

加藤 久美（川崎高校多文化教育コーディネーター）

<若者> 白 聖壘（ザリットゾーン ビサイト） 広瀬 裕理（大学生 ABCジャパンボランティア）

<実践研究者> 藤浪 海（関東学院大学教員）

<後半・皆で語り合う共生フォーラム>

* 外国につながる・つながりたい多様な人びとが、想いを語り合う

主催：多文化コミュニティひろば 共催：社会福祉法人青丘社 ザリットゾーンビサイト
協力：丹野 清人（都立大学） 村上 一基（東洋大学） 藤浪 海（関東学院大学）